

福井県海区漁業調整委員会委員候補者の推薦および応募状況 最終公表（公募期間：令和6年11月29日～令和7年1月7日）

区分	推薦を受けた者						推薦した者						
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		団体等名称	代表者職・氏名	団体等の目的	構成員		推薦理由
						従事年数	主な漁業種類				人数	構成員たる資格	
漁業者	平野 一美	69	男	漁業	平成19年3月～ 三国港機船底曳網漁業協同組合 監事 平成22年3月～ 三国港機船底曳網漁業協同組合 理事 令和4年3月～現在 三国港機船底曳網漁業協同組合 代表理事組合長 令和4年6月～現在 福井県漁業協同組合連合会 理事	51年	沖合底曳網漁業	三国港機船底曳網漁業協同組合	代表理事組合長 平野 一美	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること。	個人漁業者 8人 その他個人 18人 漁業法人 1社	・地区内に住所を有し、かつ1年を通じて90日を超えて機船底曳網漁業を営む漁民 ・地区内に住所又は事業場を有し機船底曳網漁業を営む漁業生産組合 他	平成22年3月に三国港機船底曳網漁業協同組合の理事に就任、令和4年3月から代表理事組合長を務め、底曳網漁業者の経営の健全化と発展に尽力している。 また、同組合長就任以前から長年、石川県、京都府との自主的操業制限の調整や、ズワイガニ保護区域の設定など、水産資源の保護と回復に努めている。 さらには、本県漁業者の安定的な漁場利用のための隣府県との入会漁業の調整について、漁場競合によるトラブルを回避するため多大な努力をしている。
漁業者	川端 元昭	67	男	漁業	平成8年4月～現在 第四十八栄宝丸船主 平成15年3月～ 越前漁業協同組合 理事 平成31年3月～現在 越前漁業協同組合 代表理事組合長	50年	いか釣漁業	越前漁業協同組合	代表理事組合長 川端 元昭	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること。	個人漁業者 209人	この組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み、またはこれに従事する漁民 他	福井県漁業協同組合の組合員として、定置網漁業とイカ釣り漁に従事しているとともに、定置網漁の販売ルートの確立を実施するなど水揚高アップに貢献するなど定置網構造改革に取り組んでいる。 また、組合長として漁業協同組合の制度改革にも着手し、地域漁民の経済的、社会的地位の向上に貢献しているため、福井海区漁業調整委員として相応していることから推薦いたします。
漁業者	小林 利幸	73	男	漁業	昭和42年3月～現在に至る 小型底曳網漁業に従事 平成10年3月～ 越前町漁業協同組合 監事 平成13年3月～ 越前町漁業協同組合 理事 平成25年3月～ 越前町漁業協同組合 副組合長理事 平成31年3月～現在 越前町漁業協同組合長 平成20年8月～ 福井海区漁業調整委員 平成28年8月～ 福井海区漁業調整委員会会長代理 令和3年4月～現在 福井海区漁業調整委員会会長 平成22年4月～現在 福井県いか釣漁業協会会長 令和元年6月～ 福井県信用漁業協同組合連合会副会長理事 令和3年6月～現在 東日本信用漁業協同組合連合会福井支店運営委員 令和元年6月～ 福井県漁業協同組合連合会理事 令和3年6月～現在 福井県漁業協同組合連合会代表理事会長	57年	沖合底曳網漁業	越前町漁業協同組合	代表理事組合長 小林利幸	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率をあげ、もって組合員の経済的、社会的地位を高めること。	個人漁業者 257人 その他個人 587人 漁業法人 1社 漁協等 1団体	この組合の地区内に住所を有し、かつ、1年を通じて90日を超えて漁業を営み、またはこれに従事する漁民 他	越前町漁協の組合員として、長年底曳網漁業に従事しており、漁具の改良、資源保護活動に積極的に取り組んできた。さらには、長く越前町漁協の役員を務め、組合員の社会的、経済的地位の向上にも努めてきたほか、副組合長、今は代表理事組合長として、地元漁業者の先頭に立ち活動している また、青年漁業士、指導漁業士を歴任し、県下水産業の振興に取り組むとともに、漁場利用の調整に取り組んできた。 このことから、福井海区漁業調整委員として適任と考え推薦いたします。
漁業者	木邑 康和	75	男	漁業	平成11年12月～現在 河野村漁業協同組合正組合員 平成20年1月～現在 糠定置網組合理事 平成27年6月～現在 河野村漁業協同組合代表理事 平成27年6月～現在 各種関係団体 代表監事及び運営委員 平成28年8月～現在 福井海区漁業調整委員会委員	25年	定置網漁業	河野村漁業協同組合	代表理事組合長 木邑康和	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、組合員の経済的、社会的地位を高めること。	個人漁業者 511人	当組合の地区内に住所を有し、かつ、一年を通じて90日を超えて漁業を営み又はこれに従事する漁民 この組合の地区内に住所又は事業場を有する漁業生産組合 等	木邑康和氏は、糠地区の定置網漁業に理事として従事し、南越前町（旧河野村）地区全体の漁業の状況をよく理解しています。 また、河野村漁業協同組合の代表理事組合長を務めており、組合員の信頼も厚くかつ指導力にも優れ、南越前町地区を代表する人物と言えます。 以上のことから、福井地区の漁業調整委員に推薦するものです。

漁業者	高橋 武一	76	男	漁業	昭和42年4月～ 小型定置網乗組員 昭和50年9月～ 日向定置網漁業組合乗組員 平成22年3月～ 日向定置網漁業組合 理事 美浜町漁業協同組合 理事 令和4年3月～現在 日向定置網漁業組合 組合長理事 美浜町漁業協同組合 代表理事組合長 令和4年7月～現在 福井海区漁業調整委員会委員	56年	採介藻漁業 定置漁業	美浜町漁業 協同組合	代表理事組合長 高橋武一	組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産能率を 上げ、組合員の経 済的、社会的地位 を高めること。	個人漁業者 336人	この組合の地区内に住所を有し、か つ、一年を通じて90日を超えて漁業 を営み又はこれに従事する漁民 他	氏は、長年大型定置網漁業に従事するとともに、素潜り漁を行っており、沿岸 での漁業や定置網漁業に熟知している。 地区で行っていたヒラメの中間育成、放流にも協力し、資源管理にも精通して おり、この度の海区漁業調整委員会の委員として相応しいと判断、推薦いたし ます。
漁業者	河村 径穂	56	男	漁業	昭和61年3月～ 若狭三方漁業協同組合に所属 平成28年2月～ 世久見大敷組合 代表監事 平成31年2月～現在 世久見大敷組合 組合長理事 平成31年3月～現在 若狭三方漁業協同組合 代表理事組合長 令和元年6月～ 福井県漁業協同組合連合会 理事 令和4年6月～現在 福井県漁業協同組合連合会 代表監事	38年	魚類養殖 定置漁業	若狭三方漁 業協同組合	代表理事組合長 河村径穂	組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産能率を 上げ、組合員の経 済的、社会的地位 を高めること。	個人漁業者 182人 漁協等 6団体	この組合の地区内に住所を有し、か つ、一年を通じて90日を超えて漁業 を営み又はこれに従事する漁民 他	若狭三方漁業協同組合の組合員として、魚類養殖と定置漁業に長年従事してい る。 また、世久見大敷組合の組合長として、漁船リース事業および新リース事業 を実施し、新型定置網漁船および改良漁具を導入し経営基盤の強化に尽力し た。 若狭三方漁協の組合長としては、浜の活力再生プラン第2期を作成し、漁業収 入の向上、漁業コストの削減、漁村の活性化、および海ゴミの問題等へ積極的 に取り組んでおり、地域の中心的、指導的立場にある。 さらに、千島・沖の石漁業管理委員会の会長として小浜市漁協との漁業調整に 取り組んできた。 以上のことから、福井海区漁業調整委員としてふさわしく、今般推薦に至った ものです。
漁業者	浦谷 俊晴	55	男	漁業	平成13年2月～ 小浜市漁業協同組合に所属 平成19年3月～ 小浜市漁業協同組合 理事 平成19年4月～ 福井県沿岸監視員に就任 平成23年2月 青年漁業士 平成25年3月～ 小浜市漁業協同組合 監事 平成27年2月～現在 指導漁業士 平成28年3月～ 小浜市漁業協同組合 代表監事 平成28年8月～令和3年3月 福井海区漁業調整委員 平成31年3月～ 小浜市漁業協同組合 副組合長理事 令和4年3月～現在 小浜市漁業協同組合 代表理事組合長	36年	定置漁業	小浜市漁業 協同組合	代表理事組合長 浦谷俊晴	組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産能率を 上げ、組合員の経 済的、社会的地位 を高めること。	個人漁業者 250人 漁業法人 2社	この組合の地区内に住所を有し、か つ、一年を通じて90日を超えて漁業 を営み又はこれに従事する漁民 他	小浜市漁業協同組合の組合員として、定置網漁業に長年従事している。 また、青年漁業士や指導漁業士を歴任し、水産業の振興に取り組むとともに、 海区漁業調整委員に就任し、地元漁業はもとより福井県内の漁業調整に取り組 んできた。 小浜市漁業協同組合の代表監事、副組合長や代表理事組合長に就任するなど、 地元の中心指導的な立場となり、組合の経営や漁業調整にも取り組んでいる。 そのため、福井海区漁業調整委員として相応しいことから推薦いたします。
漁業者	櫻木 忍	62	男	漁業	平成12年1月～ 若狭和田漁協小型船組合 組合長 平成12年2月～ 若狭和田漁協漁青連 会長 平成13年11月～ 高浜町漁村青壮年連絡協議会 副会長 平成28年3月～ 若狭高浜漁業協同組合 理事 平成31年3月～現在 若狭高浜漁業協同組合 副組合長理事 令和4年4月～現在 福井海区漁業調整委員会委員	46年	延縄漁業 定置漁業 刺網漁業 ナマコ漁業 採介藻漁業	若狭高浜漁 業協同組合	代表理事組合長 大黒芳信	組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産能率を 上げ、組合員の経 済的、社会的地位 を高めること。	個人漁業者 467人	この組合の地区内に住所を有し、か つ、一年を通じて90日を超えて漁業 を営み又はこれに従事する漁民 他	氏は高浜中学校を卒業後、家業の漁業を継ぎ、延縄漁業の他、刺し網、採介 藻、ナマコ、定置、遊漁船等幅広いの漁業に従事し、その間、平成12年若狭 和田漁協小型船組合長、また漁青連会長に就任し、若狭高浜漁業協同組合併 時に若手グループの意見をまとめるなど推進に寄与し、平成28年より若狭高 浜漁業協同組合理事、平成31年より副組合長理事に就任し、漁協長を助け漁 協経営基盤強化を推し進め、漁協自営定置事業について漁協の経営改善や雇用 化拡充のため関係各所と協議を重ね経営安定に取り組み努力を続けている。 また、地元を中心、指導的な立場として、各種漁業間の調整にあたるなど漁業 調整にも取り組んできた。 そのため、福井海区漁業調整委員として相応しいとされることから、推薦いた します。
漁業者	山本 尚美	62	女	漁業従事 者	平成18年2月 青年漁業士 平成20年2月～現在 指導漁業士 令和3年5月～現在 福井県漁協女性部連合協議会 会長理事	30年	底曳網漁業	福井県漁協 女性部連合 協議会	会長理事 山本 尚美	部員相互の連絡を 密にし、協同組合 運動の推進に努め るとともに、漁村 女性としての教養 を高め、漁家経済 の安定と漁村生活 の向上を図る。	漁協女性部 124人	福井県内の漁協女性部をもって組織す る。	底曳網漁業を営む夫の漁獲物の陸揚げ作業に従事しながら、女性部においても 積極的に活動を行っている。 各種イベントや学校等の捌き方教室の講師を務めるなど、魚食普及を推進して いる。 水産業の健全な発展を図る上でも、女性の漁業者代表として福井海区漁業調整 委員として相応しく、推薦いたします。

公益代表者	鈴木 聖子	64	女	団体役員	昭和60年4月 福井県入庁(水産課) 平成25年4月～ 農林水産部水産課 参事 平成28年4月～ 農林水産部水産学術産業拠点整備室長 平成29年4月～ 農林水産部水産課長 令和元年6月～ 農林水産部副部長(水産) 令和3年4月～現在 (一社)福井県漁船リース事業協会 事務局長 令和3年4月～現在 福井海区漁業調整委員会委員	-	-	福井県漁業協同組合連合会	代表理事会長 小林利幸	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めること	16 団体	福井県の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合若しくは漁業協同組合連合会又はこの連合会の地区内に住所を有する漁業生産組合は、正組合員となることができる	県庁職員として在職中、漁業調整、養殖技術開発・育成管理、水産業改良普及指導および漁協検査指導などに携わってこられた。 現在は、(一社)福井県漁船リース事業協会 事務局長として、水産経営基盤強化に携わっている。 今後も本県水産業の振興と健全な発展のため、福井海区漁業調整委員として意見を述べていただくことが相応しく、推薦いたします。
公益代表者	後藤 正邦	50	男	弁護士	平成16年10月 東京弁護士会登録 平成18年4月 福井弁護士会登録 平成24年8月～ 福井海区漁業調整委員 平成28年8月～ 福井海区漁業調整委員 令和3年4月～現在 福井海区漁業調整委員	-	-	福井弁護士会	会長 堺 啓輔	弁護士及び弁護士法人の使命及び職務にかんがみ、その品位を保持し、弁護士及び弁護士法人の事務の改善進捗を図るため、弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務を行うこと	119人	弁護士	民事、行政関係の法律問題・紛争処理 委員を3期務めた実績があり、本県の漁業調整行政に通じており、また、行政法令の解釈適用や紛争の調停などに関する実務に長けているため。
学識経験者	養松 郁子	57	女	団体役員	平成4年4月～ 日本海区水産研究所 研究員 平成16年4月～ 日本海区水産研究所 主任研究員 平成28年4月～ 日本海区水産研究所 グループ長 平成30年4月 水産研究・教育～機構 本部 研究開発コーディネーター 令和2年7月～ 水産研究・教育機構 水産資源研究所 副部長 令和6年4月～現在 水産研究・教育機構 理事	-	-	福井県漁業協同組合連合会	代表理事会長 小林利幸	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めること	16 団体	福井県の全部若しくは一部を地区とする漁業協同組合若しくは漁業協同組合連合会又はこの連合会の地区内に住所を有する漁業生産組合は、正組合員となることができる	日本海区水産研究所、水産研究・教育機構において、ベニズワイガニやホッコクアカエビなどの分布や繁殖生態を主に研究され、日本海における漁業対象魚種の資源調査や資源評価に携わられてきた。 業務経験と専門知識を活用することで、本県水産業の振興と健全な発展のため、福井海区漁業調整委員として意見を述べていただくことが期待できることから、推薦いたします。
学識経験者	富岡 啓二	70	男	団体役員	昭和54年4月 水産庁(北海道さけ・ますふ化場)入庁 平成14年4月～ 福井県農林水産部水産課長 平成17年4月～ 水産庁栽培養殖課 課長補佐 平成21年5月～ 水産庁新潟漁業調整事務所 所長 平成24年4月～ 農林水産省大臣官房政策課調査官 平成24年12月 水産庁 退職 平成25年5月～ (一社)全国底曳網漁業連合会 顧問 平成26年5月～ (一社)全国底曳網漁業連合会 専務理事 平成27年5月～現在 (一社)全国底曳網漁業連合会 会長理事 平成28年8月～現在 福井海区漁業調整委員	-	-	福井県底曳網漁業協会	会長理事 中野 良一	会員相互の親睦協調をはかり、底曳網漁業の健全なる発展を図ること	個人漁業者 38人 漁業法人 22社	福井県に住所を有する者であって福井県に船籍又は漁船登録番号を有する漁船により、底曳網漁業を営むもの	(一社)全国底曳網漁業連合会の会長理事として、底曳網漁業の調査研究、技術向上、経営安定及び振興、従事者の育成、教育及び厚生に関する事業の普及、操業水域における海洋水産資源の保護など資源管理措置の推進に携わってきた。また、水産庁職員時代には、出向により福井県農林水産部水産課長に就任するなど、本県の水産業に関する知識も豊富であり、福井海区漁業調整委員として、第21期、第22期に就任し、幅広い知識から意見が開陳された。このことから、引き続き、福井海区漁業調整委員として相応しいとされることから、推薦いたします。
遊漁者	常廣 正範	57	男	遊漁船業	平成22年12月～ 遊漁船業を営む 平成23年4月 福井県三国遊漁船協同組合 入会 平成28年4月～ 福井県三国遊漁船協同組合 理事 令和2年12月 福井県三国遊漁船協同組合 退会 令和3年1月 越前若狭釣船業協同組合 入会 令和3年3月～現在 福井県遊漁船業協同組合連合会 副理事長 令和3年4月～現在 福井海区漁業調整委員	-	-	福井県遊漁船業協同組合連合会	代表理事 米田 耕一郎	連合会員が協同して経済活動を行い、遊漁船の集客率を上げ、もって組合員の経済的、社会的地位、ルールやマナーも高めること	その他個人 25人 漁業法人 1社	それぞれの組合の地区に住所を有し、かつ1年を通じて遊漁船を営みまたはこれに従事するもの	近年、漁業と遊漁の海面利用の競合により漁場利用に関するトラブルが増加している中、福井県遊漁船業協同組合連合会の副理事長として、遊漁と漁業の漁場利用に係る協定等の締結や再締結の協議に携わり、漁場利用問題に対し精通している。 また、福井県遊漁船業協同組合連合会の所属会員へ漁場利用のルール順守の指導等を行うなど、リーダーシップを有している。 このことから福井海区漁業調整委員として相応しいとされることから、推薦いたします。

遊漁者	平内 真澄	54	女	会社役員	平成2年4月～ 京都きものセンター入社 平成5年5月～ 有限会社フィッシングポイント入社 令和3年4月～現在 福井海区漁業調整委員会委員 令和3年12月～現在 有限会社フィッシングポイント代表 令和6年4月～現在 (公)財団法人日本釣振興会福井県支部 支部長	-	-	(公)財団法人日本釣振興会福井県支部	支部長 平内真澄	健全な釣りの普及活動、釣りを楽しめる水辺環境の保全活動、釣り人のマナー向上と安全推進	9人	この法人の趣旨に賛同し、後援する個人又は法人及び団体	釣り歴19年で知識、経験が豊富、釣り人のマナー向上に取り組んでいる。釣り人側からの意見、提案ができると思います。
-----	-------	----	---	------	--	---	---	--------------------	-------------	--	----	----------------------------	--